(1)第39号 平成24年3月5日



編集/広報委員会

(076) 433-2094 FAX (076) 433-2096 E-mail anzenkai@ch.mbn.or.jp 富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内 (TEL)

として救護活動があり、

直ちに



石巻市立大須小学校内の救護所で巡回診療する富山班

経緯の体験談をお聞きする機会 員が無事避難することのできた 大船渡市立越喜来

児童と教職員の全

を大津波が飲み込んだ、岩手県

されている方も少なくありませ 社会基盤施設や国民の財産など尊い人命が失われるとともに、 な爪痕を残した東日本大震災が た。また、広域複合型災害とな 発生して、 い未曾有の地震と大津波が大き誰もが忘れない、忘れられな に多大な損害をもたらしまし しています。 この災害により、二万名近い 日本赤十字社の第一義の使命 今なお避難生活を余儀なく 早や一年が経とうと

くは、 かで、最大級の被害規模と長期まで私が携わった災害救護のな や物資を待っている被災者が多せながらお互い励まし合い救援 間の派遣、支援となりました。 設し、診療や治療、投薬、 かった。』との報告もあり、これ 寒く暗く狭い教室の中で身を寄 ってきました。『余震の続くなか、 予防など多岐にわたる業務を行 る小・中学校などに救護所を開 ところで、先日、三階の校舎 現地入りした医療救護班の多 第一次避難所となってい

より延べ一一六名を派遣するこ 救援物資の搬送、被災地の赤十 北へ送り出しました。 め、二時間半後には第一陣を東 医療救護班の出動準備を取り進 ととなりました。 字病院の支援など、富山県支部 班十五個班を出動させるととも から八月末までの間、 被災者へのこころのケア、 医療救護 発災当日

に備えて今できること

日本赤十字社富山県支部

事業推進課長 坂井

東日本大震災の経験を通し

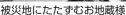
らない。三陸沿岸地方は先人よ 学区を形勢していかなければな 必要がある。 経路は限りなくシンプルにする 教育が大切であり、 然に体が動くように日々の避難 学校の安全神話は崩さぬように とんどを学校で過ごしており、 地域の協力のもと安全・安心な 紙一重であり、 計画を立てて、 訓練や正しい知識のための防災 しなければならない。また、自 『子どもたちは一日のほ 生死を分けるのは そのためにも、 避難行動や避難 綿密な防災



全壊した大船渡市立越喜来小学校

なで一緒に考えて準備し、 を固定しておくことなど、 ません。たとえば、廊下にある 確保しておくことや、家具や棚 備品を整理し安全なスペースを 自宅を危険な場所にしてはいけ や生活を営んでいる学校、企業、 である。』と熱く話されました。 であると考えます。 力を更に高めていく体制も必要 一人が身を守り、 まさしく、 最後に、被災地の一 富山でも地域や地 我々が日々の活動 確認する事が重要 家族や地域の 日も早い 形の 一 み 人 ん

復興を祈らずにはいられません。





親子安全会、今年度の活動報告!

講演会の開催

歌手の中島啓江さんをお迎え しました。 合会総会に講演会を開催し、 今年度も、 富山県PTA連

安全教育研修会の開催

を講師にお招きしました。 ンをお配りしました。 位PTAに対して、救急カバ 社富山県支部の坂井繁之さん ます。今年度は、日本赤十字 安全教育研修会を開催してい また、当会から開催地区単 毎年、三~四地区を対象に、

見舞金等の給付事業

現在で十九件、三十万三千円 を給付しています。 事故・災害に対して、 災害見舞金の給付 PTA行事中等に発生した 一月末

就学奨励金の給付

評議員会

を原則とし、学校長の推薦を 生徒さんに対し、就学奨励金 を給付しています。各校一名 学費の支弁が困難な児童・ 書面審查、現状調查等 給付しています。

す。

会代表者で構成されていま A役員や、小・中学校の教頭

各地区から推薦されたPT

況について、

提言を頂

当会の、

事業計

画や執行状 いてい

その他の給付 ゲストティーチャー 学校

> 付しています。 れた場合に、特別見舞金を給が活動中に事故・災害に遭わ 安全パトロール隊等の皆さま

います。 た場合には、 PTA会員の方が死亡され 香典を給付して

損害賠償保険への加 入

害保険に加入しています。 険金をお支払できるよう、損よって被る損害について、保 が損害賠償責任を負うことに故・災害により、PTA会長 PTAの管理下における事

ビデオ教材の貸し出し

ます。 た教材を無料で貸し出してい まで、それぞれの年齢に合っ す。小学校低学年から中学生 の視聴覚教材を用意していま 安全教育や命の教育のため

財団法人富山県PTA親子安全会

平成24年度講演会

読売新聞特別編集委員











テーマ 真の教育とは何か

平成24年 6 月 2 日生 13:00~14:45

場 会

(サンシップとやま) 富山県総合福祉会館 富山市安住町 5 -21 **☎**076−432−6141

理事会

構成されています。 校長会代表者、 PTA役員や、小・中学校の各ブロックから推薦された 評議員会で協議された事業 学識経験者で

を執行する機関です。

制度改革ワーキンググループ

行準備をしています。 公益財団法人を目指して、 平成二十五年度からの、

> 新 移

行事委員会

案・事業執行をしています。 や安全教育研修会の企画・立 毎年開催している、 講演会

判定委員

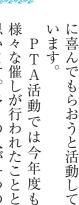
PTA皆さんの「安心・安全 このような活動を通じて、

どもたち、

会員や地域の方々

でそれぞれに役割を頂き、子を得ます。そして、そのご縁

私たちは多くの出会いの機会



う。 合い、 時には問題も起こるでしょ 思います。多くの人が一つの 活動することで大きな困 目標に向かって物事を進める 様々な催しが行われたことと P T A 活動 で は しかし、 大きな感動へと変わり 知恵を出し合いながら お互いに協力し 今年度も

ます。 この機会を与えてくれた家族 び成長する場をプレゼントさ として、そして人間として学 れたのではないでしょうか。 私たちは子どもたちから親 子どもたちに感謝

広報委員

います。 レット」の編集・発行をして やこあんぜん会」や「リーフ 年三回の広報誌 P T A お

ださい。

管理も行っています。 また、ホームページの 運

事故・災害状況の確認及び給 遺障害認定時に開催し、その 付額の決定をしています。 給付額の判断が困難な時や後 災害見舞金給付の承認や、

用

TA活動を進める中 後 記



ットやホームページをご覧

ています!

助になれるようがんば

つ

詳しくは、

当会の

リー

・フレ